【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公開番号】特開2007-261276(P2007-261276A)
【公開日】平成19年10月11日(2007.10.11)
【年通号数】公開・登録公報2007-039
【出願番号】特願2007-124012(P2007-124012)
【国際特許分類】
Ｂ３２Ｂ　27/32　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ３２Ｂ　27/32　　Ｅ
Ｂ３２Ｂ　27/32　　１０３

【手続補正書】
【提出日】平成20年4月16日(2008.4.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
多層フィルムであって、以下：
　第１の成分と第２の成分とのブレンドの第１の層であって、該第１の成分は、以下：（１）０．９１５ｇ／ｃｃ未満の密度を有する、エチレンおよびα－オレフィンのコポリマー、（２）低級アルキルアクリレートと共重合されたエチレン、（３）低級アルキル置換されたアルキルアクリレートと共重合されたエチレン、ならびに（４）イオノマー、の群から選択され、該第２の成分は、（１）プロピレン含有ポリマー、（２）ポリブチレンポリマー、（３）ポリメチルペンテンポリマー、（４）環状オレフィン含有ポリマー、および（５）架橋された多環式炭化水素含有ポリマーからなる群より選択される１つ以上のポリマーからなり、該第１の成分が、該ブレンドの９９重量％～５５重量％の量で存在し、該第２の成分が、該ブレンドの４５重量％～１重量％の量である、第１の層；
　該第２の層；
を含み、そして
　該フィルムは、２０ｋＧｙ～２００ｋＧｙの吸収線量で電子ビーム照射に供される、フィルム。
【請求項２】
請求項１に記載のフィルムであって、該フィルムは、
ＡＳＴＭ　Ｄ８８２に従って測定される場合に、６０，０００ｐｓｉ未満の弾性率を有し、ＡＳＴＭ　Ｄ１００３に従って測定される場合に、２５％未満の以下の内部ヘーズを有し、２より大きな内部接着ランキングを有し、１２０℃で２７ｐｓｉのローディングにおいて、５ミル～１５ミルの厚さを有するフィルムについて１５０％以下のサンプルクリープを有し、そして該フィルムは、シールを有する容器へと熱シールされ得、ここで、該シールは、該容器が１２１℃で１時間オートクレーブされる場合にインタクトなまま残る、フィルム。
【請求項３】
前記電子ビーム照射に暴露される場合に、前記フィルムが、環境条件未満の酸素分圧に暴露される、請求項１に記載のフィルム。
【請求項４】

前記第２の成分が、プロピレンおよびエチレンのコポリマーであり、該コポリマーが、該コポリマーの１～６重量％のエチレン含有量を有する、請求項１に記載のフィルム。
【請求項５】
前記環状オレフィンが、５～１０個の炭素を該環内に有する、請求項１に記載のフィルム。
【請求項６】
請求項５に記載のフィルムであって、前記環状オレフィンが、置換および非置換のシクロペンテン、シクロペンタジエン、シクロヘキセン、シクロヘキサジエン、シクロヘプテン、シクロヘプタジエン、シクロオクテンおよびシクロオクタジエンからなる群から選択される、フィルム。
【請求項７】
前記架橋された多環式炭化水素が、少なくとも７個の炭素を有する、請求項１に記載のフィルム。
【請求項８】
前記架橋された多環式炭化水素が、少なくとも７個の炭素を有する多環式炭化水素からなる群から選択される、請求項７に記載のフィルム。
【請求項９】
前記α－オレフィンが３～１７個の炭素を有する、請求項１に記載のフィルム。
【請求項１０】
前記α－オレフィンが４～８個の炭素を有する、請求項１に記載のフィルム。
【請求項１１】
エチレンとα－オレフィンとの前記コポリマーが、単一部位触媒を使用して得られる、請求項９に記載のフィルム。
【請求項１２】
前記第２の層が、スキン層、高周波感受性層、水蒸気バリア層、ガスバリア層、スクラップ層、シール層およびコア層からなる群から選択される、請求項１に記載のフィルム。
【請求項１３】
前記フィルムが、電子ビームが照射されたフィルムである、請求項１に記載のフィルム。
【請求項１４】
前記第２の層が、プロピレンホモポリマー、プロピレンコポリマー、エチレンホモポリマー、エチレンコポリマー、ポリエステル、コポリエステル、ポリアミドおよびコポリアミドからなる群より選択される、請求項１に記載のフィルム。